



が っ こ う
学校だより
7月号



令和4年6月24日
横浜市立三ツ沢小学校

ねん かいさい みらい かんさつかい
3年ぶりの開催！未来につなげる「ほたるの観察会」

こうちゆう たかぎ のぶき
校長 高木 伸之

色とりどりのあじさいが至るところで楽しめる三ツ沢のまち、梅雨の時期ですが、心が癒されます。そんな三ツ沢のまちがますます好きになりました。

学校では6月の初めにほたるが飛び始めました。3年ぶりとなるほたるの観察会を実施しました。6月3日の観察会初日には、11頭のほたるが確認され、324名の子どもたち、保護者の皆様、地域の方々がお見えになりました。そして、翌日の土曜日には、なんと670名もの方々のご参加があり、ほたるドームには長い行列ができていたと聞きました。その後も1日300名を超える方々が観察されるなど、コロナ禍ですが、ドームの周りは感染防止を徹底した上でのちょっとした賑わいを見せていました。平成元年から始まった本校のほたるの愛育活動は、35年間、絶えることなく、令和になっても脈々と受け継がれていることに大きな喜びを感じています。本校のほたるの愛育活動が続いているのは、職員、子どもたちの思いもありますが、ほたるの会の方々に多大なるご尽力をいただいているからと言っても過言ではありません。

現在、ほたるの会のメンバーの方の中には、本校の卒業生、しかも、ほたる委員会の委員長経験者の方もいらっしゃいます。6月3日の「未来に向かってほたピカる会」のときに、現在のほたる委員会のメンバーにその方を紹介すると、子どもたちは驚いたような表情になり、ちょっとしたよめきが起きました。同じ志を抱いた先輩との思いがけない出会いがモチベーションを高めることになったと思います。

「ホタル百科事典」によると、ほたるの発光活動は、曇りで風のない蒸し暑い夜がもっとも多く見られ、小雨でも見られますが、大雨や、晴れていても月が出ている明るい夜、気温が17度以下で風が強い夜は見ることはできないそうです。こうした条件を考えるとその期間中に沢山飛び交う日はそう多くないそうです。また、発光活動が繁殖につながるのとことなので、鑑賞する我々人間は決してその邪魔をしないようにマナーを守って観察することが、愛育活動を次につなげる大切な条件となるそうです。来年度以降も、ほたるへの愛情をもち、静かに観察を楽しんでほしいと思います。そして、ほたるがどのような環境に生息しているのかをよく見ていただき、その環境を持続させるための行動を一人ひとりが心掛けていくことが私たちに課せられた使命です。

この、「ほたるの観察会」は、TVK(テレビ神奈川)の情報番組「猫のひたいほどワイド」でも紹介されました。取材を受けたほたる委員会の子どもたちも、自分たちの取り組んでいることに誇りをもち、自信満々ではきはきと応えていました。三ツ沢小学校には、ほたるにかかわる様々な方々のやさしい思いがあふれていることを実感した6月でした。